

出演者プロフィール



©Ayumi Kakamu

トヨタ・マスター・プレイヤーズ, ウィーン

ウィーン国立歌劇場の協力を得て、本公演のために特別に編成された世界最高レベルの室内オーケストラ。

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン国立歌劇場のメンバーを中心に、ヨーロッパで活躍するアーティスト仲間たちも加わった30名で編成されている。

[芸術監督: フォルクハルト・シュトイデ]

■芸術監督・コンサートマスター



©Ayumi Kakamu

ヴォルクハルト・シュトイデ Volkhard Steude 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 コンサートマスター〉(プログラム A)
1971 年ライプツィヒに生まれ、5 歳よりヴァイオリンを始める。88 年ベルリンのハンス・アイスラー音楽大学に入学、ヨアヒム・ショルツ、ヴェルナー・ショルツ両教授に師事。大学在学中、エスタ国際ヴァイオリン・コンクール第 4 位入賞、シュポア国際ヴァイオリン・コンクールにて特別賞を受賞する他、グスタフ・マーラー・ユース管弦楽団の第 1 コンサートマスターを務める等、オーケストラ奏者としても活躍。94 年同大学卒業と同時にウィーンに留学、元ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団奏者であるアルフレド・スター教授に師事。同年コンサートマスターとしてウィーン国立歌劇場管弦楽団に入団、98 年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団、99 年よりコンサートマスターを務めている。2002 年には自らが主宰するシュトイデ弦楽四重奏団を結成する等、ソロや室内楽の多方面で活躍している。

■ソリスト



©Ayustet

阪田知樹 Tomoki Sakata 〈ピアノ〉(プログラムA)

2016 年フランチ・リスト国際ピアノコンクール第 1 位、6 つの特別賞。21 年エリザベート王妃国際音楽コンクール第 4 位入賞。東京芸術大学を経て、ハノーファー音楽演劇大学大学院ソリスト課程に在籍。第 14 回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールにて弱冠 19 歳で最年少入賞。ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ、聴衆賞等 5 つの特別賞、クリーヴランド国際ピアノコンクールにてモーツァルト演奏における特別賞、キッシンゲン国際ピアノオリンピックでは日本人初となる第 1 位及び聴衆賞。国内はもとより、世界各地 20 カ国以上で演奏を重ね、国際音楽祭への出演多数。15 年 CD デビュー、20 年 3 月、世界初録音を含む意欲的な編曲作品アルバムをリリース。阪田知樹ピアノ編曲集「ヴォカリーズ」を 22 年 5 月に、「夢のあとに」を 23 年 7 月に、阪田の作曲した「アルト・サクソフォーンとピアノのためのソナチネ」が 23 年 11 月に音楽之友社より出版。内外でのテレビ・ラジオ等メディア出演も多い。17 年横浜文化賞文化・芸術奨励賞、23 年第 32 回出光音楽賞、第 72 回神奈川文化賞未来賞、第 20 回ベストデビュタント賞を受賞。



©Ayumi Kakamu

ペーテル・ソモダリ Péter Somodari

〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団/ウィーン国立歌劇場管弦楽団ソロ・チェロ〉(プログラム A)

1977 年ヴェスプレーム(ハンガリー)に生まれる。4 歳よりチェロを始める。ブダペスト、ザールブリュッケンの音楽院にて研鑽を積む。2005 年マルクノイキルヘン国際コンクールにて優勝を飾る。室内楽奏者として、C.テツラフ、L.カヴァコス、T.ツインマーマン、G.クルターク等多くの音楽家と共演。ハンガリー国立歌劇場、ルツェルン交響楽団を経て、12 年にウィーン国立歌劇場及びウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のソロ・チェリストに就任。18 年よりウィーン国立音楽大学客員教授を務めている。

■指揮



©Masaaki Tomitori

広上淳一 Junichi Hirokami （プログラムC）

尾高惇忠にピアノと作曲を師事、音楽、音楽をすることを学ぶ。東京音楽大学指揮科卒業。26歳でキリル・コンドラシン国際指揮者コンクールに優勝。ノールショピング響、コロンバス響など欧米のオーケストラで数々のポストを歴任。コンサートヘボウ管、イスラエル・フィル、ロンドン響、サンクトペテルブルク・フィルなどへも客演を重ねる。日本では2022年まで14年にわたり京都市響常任指揮者を務め黄金時代を築いた。現在、オーケストラ・アンサンブル金沢アーティスティック・リーダー、マレーシア・フィルハーモニー管弦楽団音楽監督、日本フィルハーモニー交響楽団フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)、札幌交響楽団友情指揮者、京都市交響楽団広上淳一。東京音大指揮科教授として教育活動にも情熱を注いでいる。

■管弦楽



名古屋フィルハーモニー交響楽団 Nagoya Philharmonic Orchestra （プログラムC）

愛知県名古屋市を中心に、中部・東海地方の音楽界をリードするプロ・オーケストラ。革新的な定期演奏会のプログラムや、充実した演奏内容で広く日本中に話題を発信。“名（めい）フィル”の愛称で親しまれている。2023年4月川瀬賢太郎が第6代音楽監督に就任。他に現在の指揮者陣には、小泉和裕(名誉音楽監督)、小林研一郎(桂冠指揮者)、モーシェ・アツモン(名誉指揮者)、ティエリー・フィッシャー(名誉客演指揮者)が名を連ねている。26年4月冷水乃栄流が第5代コンポーザー・イン・レジデンスに就任。楽団創立は1966年7月10日。現在はバラエティに富んだ年間110ほどの演奏会に出演。

■メンバー

[ヴァイオリン]



ミラン・セテナ **Milan Šetena** 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉

プラハ(チェコ)に生まれる。1988 年プラハ音楽院を卒業後、ウィーンにて A.スター教授に師事。90 年ウィーン国立歌劇場管弦楽団、93 年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。室内楽奏者として、ザルツブルクをはじめとする音楽祭に出演し、世界各地で演奏活動を行う。また、ウィーン・ストリング・ソロイスツのメンバー、シュルホフ弦楽四重奏団の第 1 ヴァイオリン奏者を務めている。



ホルガー・グロー **Holger Groh** 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉

1976 年オーストリアに生まれる。ヴァイオリンを F.ディータード、A.スター、T.ヴァルガ、A.ヴィノクロフの各氏に師事。2000 年よりグラーツ交響楽団第 1 コンサートマスターに就任。06 年ウィーン国立歌劇場管弦楽団、09 年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。また、リンツ・ブルックナー音楽祭やザルツブルク音楽祭をはじめ、ヨーロッパやアジアの著名な音楽祭に出演し、ソリスト及び室内楽奏者としても活躍している。



ヴィルジニー・ビュスカイク **Virginie Buscaïl** 〈フランス国立放送フィルハーモニー管弦楽団〉

パリ高等音楽院を首席で卒業後、1996 年よりフランス国立放送フィルハーモニー管弦楽団に入団し、2001 年より同楽団のコンサートミストレスに就任。室内楽奏者としてトリオ・ジョルジュ・サンドのメンバーを務め、ラ・フォル・ジュルネをはじめ、数多くの音楽祭に出演した他、オリジナル・レーベルを立ち上げ CD をリリースしている。17 年よりパリ地方音楽院にて後進の指導にもあたる。



ミハヤール・マチャシチック **Michał Maciaszczyk** 〈ソリスト/ポリッシュ・アート・フィルハーモニック芸術監督〉

8 歳から音楽教育を受ける。ポズナン音楽大学卒業。ウィーンに在住し、ウィーン室内管弦楽団のコンマスを務め、ウィーン国立歌劇場舞台管弦楽団、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の客演奏者として多くの世界最高のアーティストとの共演を通して、クラシック音楽の極みを体験している。ソリスト、室内楽奏者及び指揮者としても世界各地で活躍している。現在、ポーランドのデル・アルテ・フェスティヴァル芸術監督も務めている他、客員教授として北京中央音楽院に招かれている。



シュケルツェン・ドリ **Shkelzen Doli** 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉

アルバニアに生まれる。セルビアのノヴィ・サド音楽学校を経てウィーン芸術大学を卒業。17 歳でユーゴスラヴィア青少年音楽コンクールに優勝し、ソリストや室内楽奏者としてヨーロッパ、北米、アフリカ、イスラエル、日本等の各地で演奏。2006 年ウィーン国立歌劇場管弦楽団、09 年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団する他、ウィーン・ヴィルトゥオーゼン、アンサンブル・ウィーン・カレッジ、ザ・フィルハーモニックス等のメンバーを務めている。



アンドレアス・ノイフェルド **Andreas Neufeld** 〈ベルリン放送交響楽団〉

1976 年クラスノダル(ロシア)に生まれる。2000 年ハイデルベルク-マンハイム音楽大学卒業。EU ユース・オーケストラ、グスタフ・マーラー・ユース管弦楽団、ドイツ・オペラ・ベルリン管弦楽団、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ベルリン国立歌劇場管弦楽団、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団等に出演。98～09 年ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団第 1 ヴァイオリン奏者を務め、12 年よりベルリン放送交響楽団第 1 ヴァイオリン・フォアシュピーラーを務めている。



©MeikeKenn

ラヘル・リリング **Rahel Rilling** 〈元北ドイツ放送交響楽団〉

1976 年シュトウトガルト(ドイツ)に生まれる。父であり指揮者の H.リリングに幼い頃から音楽の薫陶を受け、4 歳よりヴァイオリンを始める。ソリストとして世界各地のオーケストラと共演する他、著名な音楽祭にも招かれる。また 2006 年ホーエンシュタウフェン室内楽音楽祭を創設し、毎年秋季シュトウトガルトの近郊にて開催。



マリアン・ガスパール **Marián Gašpar** 〈元カメラータ・ザルツブルク コンサートマスター〉

1970 年ブラティスラヴァ(スロヴァキア)に生まれる。89 年よりウィーン国立音楽大学にて G.ヘッツェル、R.キュッヒル、A.スターの各教授に師事。ウィーン・カンマーフィルハーモニー、ウィーン・カンマー・オーケストラ、カメラータ・ザルツブルクのコンサートマスター、またカペラ・イストロポリターナ、スロヴァキア・フィルハーモニー管弦楽団、スピリット・オブ・ヨーロッパ管弦楽団のゲスト・コンサートマスターを歴任。

[ヴィオラ]



エルマー・ランダラー Elmar Landerer 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉

1974 年ザルツブルク(オーストリア)に生まれる。90 年グスタフ・マーラー・ユース管弦楽団及び EU ユース・オーケストラに入団。

96 年ウィーン国立歌劇場管弦楽団、99 年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。

また、99 年よりウィーン・フィルハーモニア・トリオ、ベルヴェデーレ・トリオ、2000 年よりウィーン・ヴィルトゥオーゼン、

02 年よりシュトイデ弦楽四重奏団等のメンバーを務めている。



ペーター・サガイシェック Peter Sagaischek 〈ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団ソロ・ヴィオラ〉

1965 年ウィーンに生まれる。ウィーン国立音楽大学にて R.キュッヒル、A.スターの両教授に師事。90 年ヴィオラ奏者として

ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団に入団。93 年より同楽団のソロ・ヴィオラ奏者。

室内楽奏者として、これまでフィルハーモニー弦楽四重奏団、グスタフ・マーラー四重奏団、トリプルス・ウィーンのメンバーを務める他、

ソリストとしても活躍している。



ローマン・ベルンハルト Roman Bernhart 〈ウィーン交響楽団ソロ・ヴィオラ〉

1968 年オイラツフェルド(オーストリア)に生まれる。ブルックナー音楽院をヴァイオリンで卒業後、ウィーン国立音楽大学に進学し、ヴィオラに転向。

アンサンブル・アクトゥエル、エオス弦楽四重奏団等のメンバーとして、ウィーン・コンツェルトハウスのコンサートシリーズに長年出演する他、

ヨーロッパの著名な音楽祭に招かれている。93 年よりウィーン交響楽団ソロ・ヴィオラ奏者を務めている。

[チェロ]



エディゾン・パシュコ Edison Pashko 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉

1973 年コルカ(アルバニア)に生まれる。93 年グラーツ音楽大学に入学。リーゼン国際チェロ・コンクール第 2 位受賞。

2010 年ウィーン国立歌劇場管弦楽団、13 年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。また、現代音楽の分野でも精力的に活動し、

ウィーン放送交響楽団、アンサンブル・ディ・ライヘ、アンサンブル・ウィーン・カレッジの現代音楽コンサートに出演している。



エリック・ウメンホフアー Erik Umenhoffer 〈ウィーン交響楽団第 2 ソロ・チェロ〉

1989 年バヤ(ハンガリー)に生まれる。8 歳よりチェロを始め、ヤーノシュ・シュタルケル・コンクール第 1 位受賞等、数多くのコンクールに入賞する。

2008 年ブダペスト音楽大学に入学し、10 年より R.ナジ教授のもとで研鑽を積む。ウィーン・コンツェルト・フェライン、ウィーン交響楽団等のメンバー

を務める他、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の補助団員としても活躍。現在、ウィーン交響楽団第 2 ソロ・チェロ奏者。

[コントラバス]



ミハエル・ブラーデラー Michael Bladerer 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉

1968 年ヴァイドホーフェン(南オーストリア)に生まれる。ウィーン国立音楽大学を最優秀の成績で卒業。ウィーン交響楽団、

ベルリン・コーミッシェ・オーパー等を経て、99 年ウィーン国立歌劇場管弦楽団、2002 年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。

また PMF や南カリフォルニア大学、ニューイングランド音楽院等でマスタークラスを開催。ウィーン八重奏団等のメンバーを務めている。



アンナ・グルッフマン Anna Gruchmann 〈ウィーン国立歌劇場舞台管弦楽団〉

1993 年ザルツブルクに生まれる。2019 年ウィーン私立芸術大学卒業後、クランゲンフルト歌劇場管弦楽団、リンツ・ブルックナー管弦楽団の首席

コントラバス奏者を経て、23 年にウィーン国立歌劇場の舞台管弦楽団に入団。室内楽奏者として「アンサンブル・ミヌイ」のメンバーを務めている。

©Lex Karelyly

[フルート]



エルヴィン・クランバウアー Erwin Klambauer 〈ウィーン交響楽団ソロ・フルート〉

1968 年オーストリアに生まれる。9 歳よりブルックナー音楽院にてフルートとピアノを始める。ウィーン国立音楽大学にて W.シュルツ氏に師事、91 年最優秀の成績で卒業。93 年ウィーン放送交響楽団のソロ・フルート奏者に就任、現在はウィーン交響楽団ソロ・フルート奏者を務める。また、室内楽奏者として、ウィーン放送交響楽団木管五重奏団等のメンバーを務めている。



マティアス・シュルツ-アイグナー Matthias Schulz-Eigner 〈ウィーン国立歌劇場舞台管弦楽団〉

1972 年ウィーンに生まれる。ウィーン国立音楽大学にて父の W.シュルツ氏に学び、最優秀の成績で卒業。ソリストとして、これまでウィーン室内管弦楽団、ブルックナー管弦楽団、ザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団、中部ドイツ放送交響楽団等と協演し、各地の音楽祭に出演。ウィーン国立歌劇場管弦楽団、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン放送交響楽団等に出演している。

[オーボエ]



ヘルベルト・マデルターナー Herbert Maderthaner 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉

1981 年ヴァイドホーフェン(南オーストリア)の音楽一家に生まれる。7 歳より兄のもとでクラリネットを始める。その後オーボエの音色に魅了され、96 年に転向し、2000 年ウィーン市立音楽院に合格。05 年よりウィーン放送交響楽団の第2オーボエ及びコールアングレ奏者を5年間務めたのち、09 年ウィーン国立歌劇場管弦楽団、13 年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。また、室内楽奏者としても活躍している。



ベルンハルト・ハインリヒス Bernhard Heinrichs 〈チューリッヒ歌劇場管弦楽団ソロ・オーボエ〉

1963 年バンベルク(ドイツ)に生まれる。ミュンヘン音楽大学にて G.パッシン教授に師事。91 年チューリッヒ歌劇場管弦楽団のソロ・オーボエ奏者に就任。N.アーノンクール、C.アバド等の著名な指揮者と共演する他、ザルツブルク音楽祭やシュレスヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭、PMF 等の世界各地の音楽祭に出演。またアーキス五重奏団のメンバーを務める等、室内楽奏者としても活躍している。

[クラリネット]



ゲラルド・パッヒンガー Gerald Pachinger 〈ウィーン交響楽団ソロ・クラリネット〉

1967 年リード(オーストリア)に生まれる。84 年にウィーン国立音楽大学に入学、P.シュミードル教授に師事。87 年に首席奏者としてウィーン交響楽団に入団。これまでソリストとして数々の著名指揮者、またウィーン交響楽団、ウィーン室内管弦楽団等と協演。客演奏者としても定期的にベルリン・フィルハーモニー管弦楽団等に招かれる。ウィーン木管アンサンブル、ウィーン五重奏団、ウィーン室内合奏団等のメンバーを務める等、室内楽奏者としても活躍している。



アンドレア・ゲツチュ Andrea Götsch 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉

1994 年ボルツァーノ(イタリア)に生まれる。ボルツァーノ音楽院、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学、ニュルンベルク音楽大学、ウィーン市立音楽芸術大学を経て、ウィーン国立芸術大学を優秀な成績で卒業。2019 年ウィーン国立歌劇場管弦楽団、22 年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。また、指揮者、作曲家としても活躍。演奏の傍、ウィーン国立芸術大学、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学にて後進の指導にもあたる。

©Julia Frank

[ファゴット]



リヒャルト・ガラー Richard Galler 〈ウィーン交響楽団ソロ・ファゴット〉

1967 年グラーツ(オーストリア)に生まれる。ザルツブルク・モーツァルテウム大学にて M.トゥルコヴィッチ氏に師事。パブロ・カザルス音楽祭、浜松国際管楽器アカデミー、PMF 等世界各地の音楽祭に出演。87 年ウィーン交響楽団の首席ファゴット奏者に就任。2004 年より M.トゥルコヴィッチの後任としてウィーン国立音楽大学教授を務めている。ウィーン室内アンサンブル、ウィーン=ベルリン木管五重奏団のメンバーとしても活躍している。



ビアンカ・シュースター Bianca Schuster 〈ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団〉

1973 年フォアアールベルク(オーストリア)に生まれる。93 年にウィーン芸術大学に入学、M.トゥルコヴィッチ、S.トゥルノフスキーの両教授に師事。2012 年よりウィーン・フォルクスオーパー管弦楽団第1ファゴット奏者。また、客演奏者としてウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン国立歌劇場等に招かれる他、ウィーン室内管弦楽団等のメンバーを務めている。グスタフ・マーラー私立音楽大学教授。

[ホルン]



ロナルド・ヤネツィック Ronald Janezic 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団首席〉

1968 年ノインキルヘン(オーストリア)に生まれる。父親は元ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のホルン奏者。6 歳よりヴァイオリンを始める。
ウィーン国立音楽大学に入学後、83 年ホルンに転向。90 年第 1 ホルン奏者として、ウィーン国立歌劇場管弦楽団に入団。
92 年よりウィーン・フィルハーモニー管弦楽団ソロ・ホルン奏者。また、ソリストとして、同楽団と協演した CD もリリースされている。



ヤン・ヤンコヴィッチ Jan Janković 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉

1984 年ザグレブ(クロアチア)の音楽一家に生まれる。96 年ウィーン市立音楽大学に入学、F.ガブラー、W.ヤネツィックの両氏に師事。
2003 年最優秀の成績で卒業後、ウィーン・トーンキュンストラ管弦楽団やザグレブ・フィルハーモニー管弦楽団を経て、
08 年ウィーン国立歌劇場管弦楽団、11 年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。
また、ウィーン・ヴィルトゥオーゼンやウィーン木管八重奏団等のメンバーを務めている。

[トランペット]



ステファン・ハイメル Stefan Haimel 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉

1982 年クラーゲンフルト(オーストリア)に生まれる。小学生の頃より父の F.ハイメル氏にトランペットを学ぶ。
ウィーン国立音楽大学にて J.ポンベルガー氏に師事、2002 年卒業。ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団をはじめとする
ウィーンの主要な管弦楽団にて客演奏者として活躍。04 年ウィーン国立歌劇場管弦楽団、07 年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。



ゲルハルト・ベルンドル Gerhard Berndl 〈ウィーン国立歌劇場舞台管弦楽団〉

1981 年シュタイヤー(オーストリア)に生まれる。10 歳よりアッシュバツハ音楽学校にてトランペットを始める。
ウィーン国立音楽大学にて J.ポンベルガー氏に師事し、2008 年卒業。ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団をはじめ、
ウィーンの主要な管弦楽団にて客演奏者として活躍、03 年 9 月よりウィーン国立歌劇場舞台管弦楽団へ入団。

[ティンパニ]



ミハエル・ヴラダー Michael Vlado 〈ウィーン交響楽団ソロ・ティンパニ〉

1962 年ウィーンに生まれる。ウィーン国立音楽大学にて H.ベルガー教授に師事。84 年よりザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団、
カメラータ・アカデミカ・ザルツブルクのティンパニ奏者を歴任し、90 年ウィーン交響楽団のソロ・ティンパニ奏者となる。
またウィーン・ヴィルトゥオーゼン、ウィーン・コンツェントウス・ムジクス等のメンバーとしても活躍している。